



声かけ隊の活動



# 地域一体となって



## 私たちの地域の安全は私たち自身で守る

つながりを持つことで安心できる  
 あいさつは大事です。児童に声をかけて元気かどうか確認しています。声をかけているのに返事をしない時は「風邪を引いて体調を崩しているのか、怒られたり、何か嫌なことでもあったのかな」と思い、家まできちんと帰れるかどうか確認したり、元気づけたりします。逆に元気だと褒められたり、何か良いことでもあったのかななど私たちも元気をもらえます。とても大きな声で遠くからあいさつする子もいます。そんな元気であいさつのできる

これからを明るく安全に  
 声かけ隊の活動  
 一週間に二回、学校の登下校の時間に、交通量が多い、人通りが少ない、見通しが悪い場所などに立って声をかけることで、児童を危険から守っています。児童が不審な人から声をかけられていないか、道路に飛び出さないかを、気をつけて見えています。児童の行動は、予測しにくいので、危険だと感じた時は声をかけます。



下島小学校区声かけ隊  
嶋田 勝さん

互いに助け合うこと  
 声かけ隊としての活動は、もう10年以上になります。いつも地域のお世話になってるので、何かお返しをしなければという思いがありました。自分にとって直接関わりがある子ではなくても、私たちの住んでいる地域そのものを安全にしたいという気持ちがあります。しかし活動する人は高齢者が多く、年々数は減ってきています。なので皆さんには、私たちが住む地域の安全は私たち自身で守るといった気持ちを持っていただきたい。互いに声を掛け合い、助け合うことで、これからの地域をより明るく安全なものにしていきたいです。

見ていること・見られていること  
 私たちが立っているだけでも、悪いことをしようとしている不審な人や、危険な運転をする人は減ります。常に誰かに見られている、それが抑止力になるからです。  
 私たちが知らない人に「ご苦労様です」とあいさつをされることも。地域の人や声かけ隊の活動を知ってくれているということ。このまちの安全を守っている、と実感する瞬間です。



声かけパトロール



青色防犯パトロール

子どもを危険から守る  
 地域を守る防犯の取り組み  
 市内の小学校・義務教育学校区を対象に、市教育委員会・守口警察署・学校・PTA・地域が一体となって、放課後の児童の様子や、登下校で通る道などの危険箇所の確認、一人遊びをしている子どもたちへの声かけパトロールを行っています。また、市内の4地域（藤田・橋波・錦・三郷）では青色防犯パトロール活動での巡回も行っています。

### 声かけパトロールで確認するポイント

- ①校区内危険箇所の確認  
見通しの悪い箇所(曲がり角・駐車場・木や塀などに囲まれていて外から見えない場所)。交通量が多い箇所(道路・歩道・横断歩道)。人通りが少ない箇所(空家・空き地・廃墟)。
- ②校区内の子どもたちの状況把握  
どこで遊んでいるか、どの道を通っているか、通学路以外や横断・通り抜け禁止の場所を通っていないかなど。
- ③犯罪に対する抑止効果  
声かけパトロールがいつ行われるか、わからないことで犯罪への抑止効果になる。

安全のバトンをつなぐ  
 安全なまちにするためには地域の協力が不可欠です。地域住人が声かけパトロールなどで蓄積した長年の知識をみんなで共有することで、新しく引越してきた人など、その地域のことを知らない人でも、危険な箇所などの情報を知ることができ、安心できます。